

※ 本記事はブログ記事として提供しています。その範疇のものとして捉えて下さい。

## 「UD デジタル教科書体」＝「みんなが読みやすい」

- 「UD デジタル教科書体」「BIS UD ゴシック」(Win10なら使える。学校の緒パソコンはWin8だから使えない…ないしはWord. パワポファイルとして外部から持ち込んでも、文字化けしたり、文章レイアウトがことごとくズレる)ですが、反響が大きいのでエントリにしてみます。
- この「UD デジタル教科書体」「BIS UD ゴシック」は、この数年内に爆発的に学校教育の現場に普及していくと思うんです（学校のPCがWin10に対応した途端に。今はセキュリティソフトとか、暗号化ソフトの関係でまだ暫くUpdateされないと思われます…。）カタログに記載されているエビデンス（科学的根拠のこと）を読み取ると、その効果の大きさを読み取ることができます（衝撃を受けるほどに！）。たった「フォントを変えるだけ」という誰でもできる作業で。取り組みの仕事量少なくして、効果が高いものは普及することがとても多いと思います。

### UD デジタル教科書体を授業に持ち込むには？

- 現状、学校のパソコンがUD デジタル教科書体に対応していないと学校ではこの書体を使った教材を作ることができません。もし、学校のパソコンがWin10で無い場合の対応方法を以下に記載します。
- ① Win10のパソコンがあればPCで一気にフォント変換し、PDF化して元のパソコンに戻す。
  - ② 家のパソコンでデータを作って、印刷して、紙媒体で学校に持ち込む（これが一番安全）
  - ③ 県の規定が赦すのであれば、家のパソコンでデータを作って、PDFにして、gmailの「下書き保存」機能で学校のPCと連携する。（PDFファイルなら学校のPCで開いても文字化けしない。）
  - ④ プrezentファイルならパワポで作って、①「画像として保存」②「空白ページに画像貼り付け」③自分のiPhoneのKeynoteやパワポにDropbox経由とかで移して、Airdropで学校のiPadに移す（iOSはウイルス感染の恐れがほぼ無い）
- …とちょっと敷居は高いのですが、「遠足のしおり」とか、「書字・読字教材」は何とかこのフォントで作ってあげたいものですよね。フォントタブの「既定に設定」から、ファイルを開いてすぐに使える既定フォントとしても「UD デジタル教科書体」を設定することができます。2枚目以降のカタログの内容、本当に興味深くて面白いのでオススメです。

